

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【公開番号】特開 2014-225010 (P2014-225010A)
 【公開日】平成 26 年 12 月 4 日 (2014.12.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-066
 【出願番号】特願 2014-88812 (P2014-88812)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/40 (2006.01)
 G 0 9 F 9/00 (2006.01)
 H 0 5 B 33/02 (2006.01)
 H 0 1 L 51/50 (2006.01)
 H 0 5 B 33/14 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/40 3 0 1
 G 0 9 F 9/00 3 5 0 A
 G 0 9 F 9/00 3 1 2
 H 0 5 B 33/02
 H 0 5 B 33/14 A
 H 0 5 B 33/14 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 4 月 21 日 (2017.4.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

表示領域及び非表示領域を有する表示パネルと、前記表示領域と重なる第 1 の面、及び前記第 1 の面と連続し、前記非表示領域と重なる第 2 の面を有する支持体と、をそれぞれ有する 2 つの表示ユニットと、

前記 2 つの表示ユニットに挟まれた連結部を有し、前記 2 つの表示ユニットを支持する、折りたたみ可能な筐体と、を有し、

前記筐体が展開された状態において、前記 2 つの表示ユニットは、互いの前記支持体の第 1 の面が同じ方向を向き、互いの前記支持体の第 2 の面が対向するように配置された表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記表示パネルは、可撓性を有する表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、
前記筐体が展開された状態において、前記 2 つの表示ユニットは、互いに対向する前記支持体の第 2 の面側で接している表示装置。